

一ノ谷プラザ主催イベント

広報部 長谷川洸士

和風をつくり須磨海岸で凧上げ

1月25日(日)「和風をつくり須磨海岸で凧あげをしよう」が、親子20組50名が参加して開かれた。

午前中、まず和紙に好きな絵を美工8期の松本さんのアドバイスで思い思いの絵に挑戦し、そのあと、藤田副理事長の指導で自分の描いた和紙に竹ひごを糊づけし、糸を付ける作業に親子一緒に熱中していた。

昼食後、近くの須磨海岸に降りて、凧上げを楽しんだ。くるくる回ってなかなか上がらない凧は、指導員の方の手直して上がるようになり、中にはとても高くまであがった凧もありました。



参加者からのお礼状

春が待ち遠しい季節になりました。和風作りは、親子とも初めてでどうなるかと思っていましたが、ご親切に教えていただいたおかげで見事“青空”に舞うことができました。

私自身知らないことや、経験したことの多いので今後も学ばせていただけたらと思っています。グループわさまのさらなるご活躍を切望しています。また参加させていただきますようよろしくお願いいたします。参加者の母親より



認知症を正しく理解しよう

2月19日(木)一般の方を含め約50名の参加して、「認知症を正しく理解しよう」の勉強会が開かれた。高齢社会では、85歳以上では3人に1人が罹る病気といわれる認知症がどのような病気か、認知症の方にはどのように接するのがよいかについて、認知症キャラバンメイトの西本敬子先生、認知症予防体操を佐竹由美健康運動指導士の指導を受けました。

認知症とは

認知症は、「もの忘れ」を主体とする脳の病気、年齢相応の「もの忘れ」とは別のものです。

	認知症によるもの	加齢によるもの
症	体験全体を忘れる。 思い出すことが困難	体験の一部のみ忘れる。 ヒントがあれば、思い出すことができる。
状	(例) 食事したこと自体を忘れる。 人の顔を忘れる。	(例) 食事の内容を忘れる。 人の名前を和する。

認知症は早い時期に発見・診断することで、正しい対応(介護)や治療を行うことができます。病気の種類によっては、薬で進行を遅らせる事ができたり、治療で治る場合もあります。おかしいなと思ったら、年のせいにしてしまわず、早めに相談しましょう

認知症に関する相談窓口

あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)

お住まいの地域の身近な場所で、高齢者の在宅介護の相談や保健福祉サービスの利用手続きなどを行う総合的な窓口です。(市内74か所市が委託)

各区役所 あんしんすこやか係

こころの病気に関するご本人やご家族からの相談に、精神保健福祉相談員や精神科嘱託医が応じます。(事前に電話でご相談のうえお越し下さい)

